

遊水地に生息する外来種捕獲作戦

豊かな自然を未来につないでいこう、今私たちにできる自然再生

主催：巴川流域麻機遊水地自然再生協議会

共催：静岡県静岡土木事務所、静岡市緑地政策課、静岡市清流の都創造課、静岡市動物指導センター

■開催結果

平成25年11月3日(日)に、麻機遊水地第1工区において『外来種駆除作戦』が開催され、約500名の方が参加しました。

今回のイベントは、麻機遊水地に生息する在来のモツゴ、ギンプナ、ハスなどの動植物が、ミシシippアカミミガメなどの外来種の影響により減少していることから、外来種を捕獲し、在来の動植物の保全や市民への啓発を目的に開催されました。

当日は、水を抜いた遊水地の中に入り、泥だらけになって魚を捕獲することも達の様子が見られ、なかには体長70cmを超えるライギョを捕獲する子供の姿も見られました。

他にも、パネル展示やクイズラリー、昔の遊び体験、野鳥観察会なども行われ、大人から子供まで多くの参加者が楽しむ様子が見られました。

今後も自然再生協議会では、市民に遊水地の自然環境の素晴らしさを伝えていくとともに、自然環境の保全・維持していくための活動を継続していきたいと考えています。

イベント状況写真



<協力>

静岡北中・高等学校、静岡大学、東海大学水棲環境研究会、平井工業㈱、瀧重機土木㈱、㈱アクティオ、しずおか信用金庫
協同組合静岡流通センター、富士山静岡空港、静岡県職員組合、静岡県清水港管理局、静岡県地質調査業協会
JAあさはた支店、JA静岡本店、静岡県河川協会、麻機連合町内会、一般社団法人モリス、麻機村塾、麻機湿原を保全する会